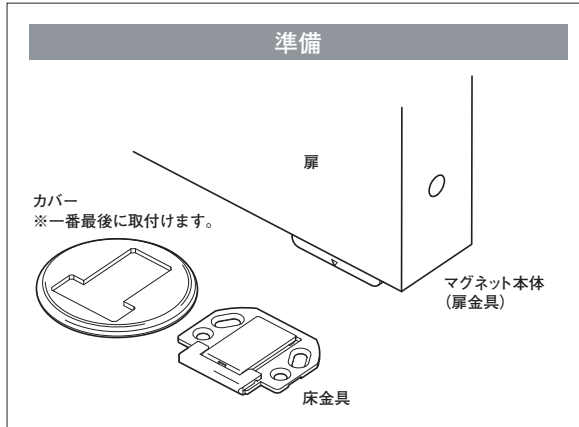


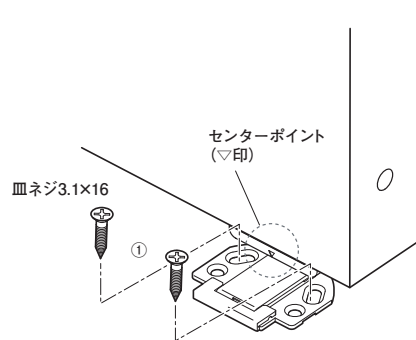
## ● ドアストッパービルトインタイプ (NDS-003) 取付施工手順

### ⚠ 金具取付時のご注意

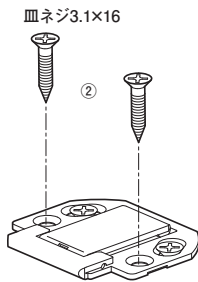
電動ドライバーで取付ビスの締めつけをおこなう場合はビスを締めきらず、最後に手動ドライバーで締めつけてください。  
(金具を取り付ける際にはビスを締めすぎないよう、特にご注意ください。)



**1** 床金具を仮固定します。マグネット本体の前面にあるセンターポイント(▽印)を目安に床金具のセンター位置を調整し、ビス①で床金具を仮固定します。

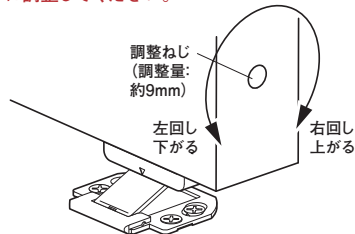


**2** 固定ネジで床金具を留めます。位置が決まったらビス②で床金具を固定します。

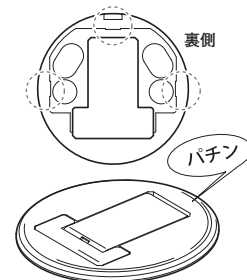


**3** 扉金具の高さを調節します。ドアを開閉し扉金具のヒンジが確実にはまる高さに調整ねじにて調節します。(左へ回すと下がり、右へ回すと上がります)

注) 床～扉の隙間は7～16mm以内であること。  
また、床～マグネット本体の隙間を調整ねじで、7～10mm(推奨:7mm)の範囲内に収まるように調整してください。

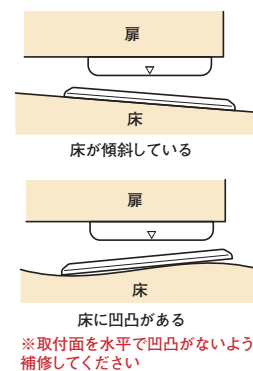
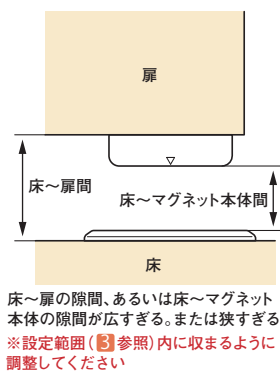
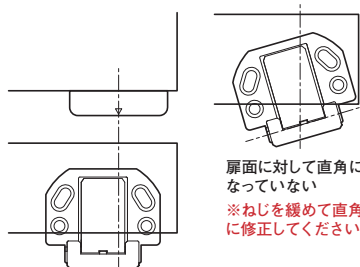


**4** カバーをかぶせ取付完成。カバーの裏側にあるツメ(下図破線部内)を「パチン」と音がするまでしっかりはめ込んでください。



### ⚠ ご注意

下記のような取付は、装置本来の性能を妨げ、扉・壁・床または、装置を破損させる要因となりますので、十分気を付けて施工を行ってください。



- 扉～マグネット本体の隙間が設定範囲を超え広い場合、ヒンジをキャッチできないか、起き上がったヒンジが反対側に倒れ、破損する恐れがあります。また、狭すぎる場合は、ヒンジをキャッチすることができません。必ず設定範囲内に於いて御使用ください。
- 床の不安定な場所(ソフトカーペットや絨毯等)に、直接取付けることはできません。取付部をくり抜く等、処置を施してから施工してください。
- 当製品は仮固定用の装置であり、アオリ止めではありません。突風によりあおられた扉を完全に保持することはできません。
- 突風や、限度を超える扱いによって勢いのついた扉をキャッチすることはできません。
- 上記要因・施工不良・お客様の誤操作によって生じた故障や不具合については、一切の責任を負いかねますので御了承ください。